

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00473)

事務事業名称		情報教育の推進				款	07	項	01	目	03	事業	003	整理番号	488		
現担当課名		庶務課		係名		学校ICT推進担当係			連絡先電話番号		1608		昨年度整理番号		500		
上位施策No・施策名											27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		平成2年度		実行計画事業		目標05		施策27		計画事業04		主要事業(区政経営報告書掲載事業)				
	平成30年度担当課名		庶務課								事業評価区分			一般			
	対象				区立小・中・養護学校の児童・生徒及び教職員				根拠法令等		(1)		高度情報通信ネットワーク社会形成基本法、新たな情報通信技術戦略(平成22年)				
											(2)		学校におけるICT環境の整備について(平成29年文部科学省)				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				校務のICT活用促進とともに、校内のICT環境整備を進め、日常の授業改善、児童・生徒ひとり一人の課題の解決に向けた個別対応、教師の校務負担の軽減を図る。				活動指標		指標名(1)		教職員用パソコンの配備台数				
										指標説明		教育用パソコン1台当たりの児童・生徒数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				教職員用の校務パソコンを配備し、校務システムの維持管理を行う。 教育用パソコン(パソコン教室、教員用タブレットPC、学校図書館用パソコン、児童・生徒用タブレットPC)を配備し、教育用システムの維持管理を行う。				成果指標		指標名(1)		教職員用パソコンの配備台数					
										指標説明		校務システム用クライアントパソコン(校別パソコン)の配備台数					
										指標名(2)		児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数					
										指標説明		児童・生徒の利用を専用としたタブレットPC1台当たりの児童・生徒数					
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	台	2,146	2,146	2,146	2,164	2,164	2,283	100.0						
	活動指標(2)		2	人	4.0	3.3	3.3	3.1	3.1	3.0	100.0						
	成果指標(1)		3	台	2,146	2,146	2,146	2,164	2,164	2,283	100.0						
	成果指標(2)		4	人	5.9	4.6	4.4	4.4	4.0	3.8	90.9						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	768,888	1,145,506	1,129,680	1,100,022	1,093,181	1,379,028	平成30年度 予算執行率(%)		99.4				
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		7	千円	203,989	381,966	375,317	153,764	153,705	280,219							
	職員数	常勤職員数		8	人	3.00	2.00	2.50	3.00	3.00	3.00						
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	25,686	17,124	21,478	25,773	25,278	25,278						
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	794,574	1,162,630	1,151,158	1,125,795	1,118,459	1,404,306							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	370,258	541,766	536,420	520,238	516,848	615,114							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	15,225	63,268	66,764	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	15,225	63,268	66,764	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	779,349	1,099,362	1,084,394	1,125,795	1,118,459	1,404,306								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

			整理番号	488	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		校務システム用パソコン、サーバ等機器の賃貸借及び運用保守			271,610
		電子黒板システム、タブレットPCの賃貸借及び運用保守			214,483
		コンピュータ室の機器賃貸借及び運用保守			379,294
		区立小・中学校、特別支援学校ネットワーク機器賃貸借及び運用保守			197,263
		その他(図書館システム使用料、緊急メール配信システム運用 ほか)			30,531
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>新校務システムの構築に向けたシステム設計、小学校18校と杉並和泉学園のコンピュータ室のタブレットPCへの入替え、小学校3校のタブレットPCの更新、小学校2校と中学校1校へのタブレットPCの配備、桃井第二小学校新校舎のネットワーク機器の整備を実施しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>H2: 中学校11校コンピュータ教室設置 / H13: 全校ネット接続環境整備 / H17: 校務システムと図書館システムの導入 / H18: 中学校教室ネット接続回線架設 / H19: 小学校教室ネット接続回線架設、全校図書館システム・教室用パソコン・教職員校務パソコン配備 / H20: 校務システム(スクールオフィス)稼動 / H24: 校務システム改修の実施 / H26: 電子黒板機能付プロジェクターの整備 / H27: 研究校へタブレットPC配備 / H28: 小学校12校のLANケーブル更新 / H29: 小学校22校、中学校21校、特別支援学校1校のLANケーブル更新と小学校4校、中学校5校、特別支援学校1校へタブレットPC配備 / H30: 小学校2校、中学校1校へタブレットPC配備、文科省: 学校におけるICT環境の整備について(教育ICT化環境整備5か年計画)</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>小学校PTA協議会から教育機会の均等を図るため、全校へのタブレットPCの適正配備、特別支援学級へのタブレットの配備、授業サポートに必要なICT支援員の訪問回数の増、中学校PTA協議会から、特別支援学級へのタブレットの配備に関する予算要望が提出されています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>令和2年度から小学校、令和3年度から中学校での新学習指導要領が全面実施され、教科等をこえた全ての学習の基礎となる資質・能力として、情報活用能力が、言語能力、問題発見・解決能力等と同様に位置づけられています。 このうち、情報活用能力(プログラミング教育含む)を身に付けるため、児童・生徒が1人1台のタブレットPCを活用できる環境を整備していきます。</p>			
	評価と課題	<p>小中一貫教育推進基本方針に基づく連携校グループへ、順次、普通教室での授業に使うためのタブレットPCを配備しました。 今後は、新学習指導要領の全面実施に合わせて、令和2年度に全小学校、令和3年度に全中学校において、授業展開に応じて、児童・生徒が1人1台利用できる環境として、タブレットPCの配備を進めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>校務パソコンは、新基幹アプリケーション「C4th」を平成32年4月から運用するため、システム構築を行うとともに、普通教室に設置している電子黒板機能付きプロジェクターの新機種への交換作業を行います。 また、令和2年度に、児童・生徒用タブレットPCは、新学習指導要領が小学校で全面実施されることに向けて、全小学校に、必要な授業時間に1学年全クラスが同時に使えるよう追加配備し、併せて、教員用タブレットPC及び校務ネットワークの基盤システムの更新を計画的に進めます。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00487)

事務事業名称 学校図書館の充実			款 07	項 01	目 03	事業 018	整理番号 500				
現担当課名 教育人事企画課		係名 教育人事係		連絡先電話番号 1654		昨年度整理番号 512					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 既定事業					
事業開始 平成21年度		実行計画事業 目標 05 施策 27		計画事業 03							
平成30年度担当課名 教育人事企画課						事業評価区分 一般					
対象 杉並区立小・中学校の児童・生徒		根拠法令等 (1) 杉並区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例									
		(2) 学校図書館法									
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標		学校司書配置校数						
	学校司書を配置し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みを整備し、学校図書館を「読書センター」「学習センター」「情報センター」として機能させ、学校図書館を活用した教育活動を推進する。		指標名(1)								
			指標説明								
			指標名(2)								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		指標説明									
学校図書館の運営体制の充実・強化を図り、学校の経営力・教育力を高めていくため、区立小・中学校に学校司書を配置する。 学校図書館の蔵書の充実を図る。 学校図書館を活用した教育活動の推進に向け支援を行う。 学校司書の資質向上を図る。		成果指標		学校図書館の年間平均貸出冊数(児童・生徒一人当たり)(小学校)							
		指標名(1)		学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数							
		指標説明									
		指標名(2)		学校図書館の年間平均貸出冊数(児童・生徒一人当たり)(中学校)							
		指標説明		学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数							
区分	単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度			
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				計画	対計画比(%)
指標	活動指標(1)	1	校	64	64	64	64	64	100.0		
	活動指標(2)	2									
	成果指標(1)	3	冊	42.7	40.5	45.7	44.0	46.8	45.5	106.4	
	成果指標(2)	4	冊	9.8	14.0	10.7	14.0	12.2	14.5	87.1	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	156,162	167,410	161,520	4,406	4,295	3,929	平成30年度 予算執行率(%) 97.5	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成29年度に対し平成30年度の事業費が大幅に減少していますが、これは平成30年度から、学校司書及び学校図書館支援パートの報酬に係る経費が、別の予算事業「パートタイム一人件費」(人事課)に計上されたことによるものです。	
	(内)委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0		
	職員数	常勤職員数	8	人	2.30	2.30	2.40	2.40	2.40		2.40
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		1.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	19,693	19,693	20,618	20,618	20,222		20,222
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	2,971	2,971	2,944	2,944	3,089		3,089
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	178,826	190,074	185,082	27,968	27,606	27,240		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	2,794,156	2,969,906	2,891,906	437,000	431,344	425,625		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	178,826	190,074	185,082	27,968	27,606	27,240		
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	500
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		学校司書に対する旅費の支出	64	人	336
		学校図書館活用実践校事業	7	校	3,481
		学校図書館支援パート旅費の支出	4	人	58
		学校司書研修講師謝礼	6	人	105
		その他(学校図書館研究用図書の購入ほか)			315
(2) 事業実績	引き続き区立小中学校全校に学校司書を配置し、学校図書館の蔵書の充実や館内整備を行うとともに、様々な手法での読書活動の推進や授業での学校図書館活用の充実を図りました。学校図書館活用実践校(小学校4校・中学校3校)では、図書館を活用した調べ学習を進めたり、読書活動の質の向上に取り組みました。また、学校図書館支援担当は運営の相談に応じるとともに、学校司書や司書教諭等への研修を実施し、資質の向上や情報共有を図りました。平成30年度の学校図書館の1人当たり年間貸出冊数は、小中学校ともに平成29年度を上回りました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	学校図書館の充実のため、平成21年度から段階的に学校司書を配置し、平成24年度からは小中学校全校に配置しています。学校図書館サポートデスクでは各学校図書館の支援を行い、学校図書館の整備・活用を推進してきました。学校図書館の貸出冊数は、学校司書が配置される前と比べて、小学校は2.7倍、中学校は6.4倍の伸びとなり、蔵書冊数については国で定めた基準値を全校で達成するには至らない状況ですが、平成29年度末には小中学校とも7割、平成30年度は8割の学校が達成しています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	児童・生徒や保護者、また学校からも、学校司書の継続配置を求められており、学校図書館の充実についても保護者や区民から期待と要望が寄せられています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	学校図書館の3つの機能(児童・生徒の読書習慣を培う「読書センター」、児童・生徒の学習活動を支える「学習センター」、「情報センター」)の充実・強化を図るため、今後も小中学校全校に学校司書を配置し、研修を拡充させていきます。学校図書館を活用した教育活動が更に充実するよう活用実践校の取組を司書教諭研修等を通じて全校へ発信します。また、学校図書館においてタブレットを活用・併用した学習が増えることも予想されます。そうした新たな指導内容・方法等の情報共有や新学習指導要領による教科書に適切な蔵書の紹介等、学校図書館支援担当による支援を継続しながら、学校図書館の活用を推進していきます。			
評価と課題	平成21年度から段階的に学校司書を配置し、平成24年度からは小中学校全校に配置してきた結果、学校図書館の機能の充実が図られ、活発な読書活動や学校図書館を利用した授業実践が充実してきています。年間貸出冊数や蔵書冊数は増加傾向にあります。学校によっては蔵書冊数の基準に満たない学校があったり、達成していても新しい情報の図書に更新されないままになっていたり等の課題があります。また、小学生の読書の質の向上や中学生の読書活動・学校図書館利用も課題となっています。さらにタブレットと図書資料の同時活用による学習例を情報共有し、教育課程の展開に寄与する学校図書館活用を推進する必要があります。これらの基盤となる校内の運営体制作りや、司書教諭の役割の意識化・学校司書との連携・協働の推進を進めていきます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	学校図書館を活用した教育活動の推進及び学校図書館の機能充実を図るため、これまでの成果を踏まえ引き続き学校司書を小中学校全校に配置し、学校図書館を活性化していきます。「杉並区子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館運営体制の確立や図書・施設・設備の整備・充実を図り、学校図書館活用の推進者である司書教諭への働きかけを更に充実させていきます。令和元年度は学校図書館活用実践校として6校を指定し、蔵書冊数に配慮しながら、学校図書館活用の計画化と実践を進め、その取組を研修等で発信することで、全校の学校図書館の充実につなげていきます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00493)

事務事業名称		小学校の維持管理			款	07	項	02	目	01	事業	002	整理番号	506
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設整備係			連絡先電話番号	1682	昨年度整理番号	518
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始													
	平成30年度担当課名	学校整備課										事業評価区分	施設維持管理	
	対象	区立小学校の児童及び施設設備			根拠法令等	(1)		学校教育法第5条						
						(2)		地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安全安心を確保する。			活動指標	指標名(1)		区立小学校数						
					指標説明		予算の算定根拠							
					指標名(2)		機械警備実施校数							
					指標説明		予算の算定根拠							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	機械警備や昇降機等が導入されている小学校について、それらの設備の保守管理を実施する。													
				成果指標	指標名(1)									
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 校	41	41	41	41	41	41	100.0					
	活動指標(2)	2 校	37	37	37	37	37	40	100.0					
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	94,828	96,719	94,607	104,774	101,631	113,373	平成30年度 予算執行率(%)	97.0				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	65,070	65,673	63,699	73,633	70,579	82,380						
	職員数	常勤職員数	8 人	49.38	46.35	46.38	41.40	41.46	36.60					
		再任用職員数	9 人	11.10	9.10	9.10	14.00	14.00	14.00					
		非常勤職員数	10 人	10.54	5.58	5.40	4.26	5.10	5.80					
	人件費	常勤職員分	11 千円	422,792	396,849	398,451	355,667	349,342	308,392					
		再任用職員分	12 千円	48,729	39,949	40,295	61,992	62,076	62,076					
		非常勤職員分	13 千円	31,314	16,578	15,898	12,541	15,754	17,916					
	総事業費	14 千円	597,663	550,095	549,251	534,974	528,803	501,757						
	単位当たりコスト	15 円	14,577,146	13,416,951	13,396,366	13,048,146	12,897,634	12,237,976						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0					
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源		21 千円	597,663	550,095	549,251	534,974	528,803	501,757						
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

整理番号 506

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	機械警備業務委託	37	校	21,944
		機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	7	校	11,302
		昇降機保守点検業務委託	10	校	10,138
		施設保全法定点検業務委託	41	校	10,169
		その他（設備の保守委託 ほか）			48,078
	(2) 事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の確保に努めました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門事業者への委託が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保していきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00753 ）

事務事業名称 小中一貫教育校開校準備（高円寺地区）				款 07	項 02	目 01	事業 008	整理番号 509		
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1685		昨年度整理番号 521				
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 臨時事業				
事業開始 平成29年度		実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01								
平成30年度担当課名 学校整備課				事業評価区分 一般						
事務事業の概要	対象		杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)		高円寺地域における新しい学校づくり懇談会運営要綱			
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し設置する施設一体型の小中一貫教育校の開校に向け、学園章、学園歌及びメモリアル制作等を行う。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		学園章検討部会開催回数 3校のメモリアル検討部会開催回数			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		平成29年度 学園章案及び学園歌案の制作 平成30年度 学園章及び学園歌の選定並びにメモリアル制作準備 令和元年度 学園章及び学園歌の決定並びにメモリアル制作及び記念式典開催		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		学園章案制作状況 学園歌案制作状況			
	区分		単位	平成28年度実績	平成29年度計画	平成29年度実績	平成30年度計画(目標値)	平成30年度実績	令和元年度計画	平成30年度対計画比(%)
指標	活動指標(1)	1 回		2	3	1	0	0	0.0	
	活動指標(2)	2 回		2	2	3	1	1	33.3	
	成果指標(1)	3 案		10	14	1	1	0	100.0	
	成果指標(2)	4 曲		1	1	1	1	0	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円		1,028	1,001	753	339	4,267	平成30年度予算執行率(%) 45.0	
	(内)投資的経費等	6 千円		0	0	0	0	0	特記事項 この事業は、予算科目(小学校費、中学校費)の関係で、整理番号524と分割して記載しています。 (No.509...小学校費、No.524...中学校費)	
	(内)委託費	7 千円		578	551	703	289	1,466		
	職員数	常勤職員数	8 人		0.00	0.25	0.25	0.25		0.25
		再任用職員数	9 人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円		0	2,148	2,148	2,107		2,107
		再任用職員分	12 千円		0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円		0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円		1,028	3,149	2,901	2,446	6,374		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円		514,000	1,049,667	2,901,000	0	0		
	財源	受益者負担分	16 千円		0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円		0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円		0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円		0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		0	0	0	0	0		
差引：一般財源(14-20)		21 千円		1,028	3,149	2,901	2,446	6,374		
受益者負担比率(16÷14)	22 %		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

			整理番号	509	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		学園章決定			
		学園歌決定及び編曲	1	曲	50
		その他(メモリアル作品制作準備)			289
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>児童・生徒、保護者、地域住民及び新しい学校づくり懇談会での意見を踏まえ、学園章及び学園歌を決定し、学園歌については、混声三部合唱の編曲を行いました。 メモリアルについては、3校のメモリアル検討部会を開催し、新校舎での展示等について検討を加えるなど、準備を進めました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>学園章及び学園歌は、平成29年に学園章検討部会を設置し、児童・生徒、保護者、学校関係者や地域関係者等の意見を基に懇談会で検討を行い、決定しました。 メモリアルについては、平成29年に3校のメモリアル検討部会を設置し、3校のメモリアル調査結果や過去の統合校の事例を踏まえ、検討を加えました。 なお、抗議活動等に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も同年4月から令和2年4月に変更しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>学園章については、今までの校章に近く重みがある等の意見があり、学園歌については、聴くたびに耳に馴染む等の意見がありました。 メモリアルについては、小さな子どもも見やすい位置に展示することや高円寺中学校にある樹木を活用して作品を制作する等の意見がありました。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>学園章、学園歌及びメモリアルが3校の伝統を引き継ぐとともに、新校の象徴として児童・生徒、学校関係者や地域関係者に親しまれます。</p>			
	評価と課題	<p>懇談会委員、児童・生徒、学校関係者及び地域関係者等の意見を基に、3校の伝統を引き継ぐとともに新校の象徴として親しまれるものとして学園章及び学園歌を決定しました。また、メモリアルについては、展示方法等について引き続き検討を進めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	令和2年4月の開校に伴い、本事業は令和元年度をもって終了する予定です。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00500 ）

事務事業名称		小学校の施設整備			款	07	項	02	目	04	事業	001	整理番号	513	
現担当課名		営繕課		係名	営繕係			連絡先電話番号	1564		昨年度整理番号	525			
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始														
	平成30年度担当課名	営繕課								事業評価区分	一般				
	対象	区立小学校の児童・教職員及び学校施設利用者			根拠法令等	(1)		学校教育法第 5 条、地方自治法第180条の 2							
						(2)		杉並区工事施工規程、学校施設の計画保全に関する処理要領							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	小学校の諸施設・設備について、適切に維持保全するとともに、教育環境の充実を図っていく。			活動指標	指標名（ 1 ）		改修工事実施校数							
					指標説明										
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	小学校の校舎屋上防水、校舎外壁、便所及び照明設備などの改修を計画的に実施する。			成果指標	指標名（ 1 ）		改修工事実施割合								
					指標説明		実施校数 ÷ 計画校数								
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（ 1 ）	1 件（校）	15	17	17	16	16	13	100.0						
	活動指標（ 2 ）	2													
	成果指標（ 1 ）	3 %	83	100	100	100	100	100	100.0						
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	369,098	605,733	604,530	500,474	493,613	715,412	平成30年度予算執行率(%)	98.6					
	（内）投資的経費等	6 千円	369,098	605,733	604,530	500,474	493,613	715,412	特記事項						
	（内）委託費	7 千円	368,417	604,833	603,637	499,574	492,730	714,512							
	職員数	常勤職員数	8 人	8.22	7.50	8.05	7.90	8.66	7.40						
		再任用職員数	9 人	0.44	0.40	0.41	0.00	0.00	0.60						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	70,380	64,215	69,158	67,869	72,969	62,352						
		再任用職員分	12 千円	1,932	1,756	1,815	0	0	2,660						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費	14 千円	441,410	671,704	675,503	568,343	566,582	780,424							
	単位当たりコスト	15 円	4,820,800	3,880,647	4,174,882	4,241,813	4,560,563	5,000,923							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	17,571	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	13,257	0	18,818	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	0	0	13,257	0	36,389	0							
差引：一般財源		21 千円	441,410	671,704	662,246	568,343	530,193	780,424							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

			整理番号	513	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		高井戸第三小学校校舎屋上防水改修工事			44,150
		桃井第一小学校校舎外壁補修工事			77,868
		大宮小学校便所改修工事			58,320
		桃井第四小学校受変電設備取替工事			34,441
		その他（方南小学校屋上プール改修工事ほか）			278,834
事業実績	(2) 事業実績 学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎屋上防水改修工事、校舎外壁補修工事、便所改修工事、受変電設備取替工事、屋上プール改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。 今後も学校の改築時期、施設の劣化状況や耐用年数を考慮しながら、計画的かつ効果的・効率的な改修工事を実施します。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	学校建物の老朽化が進む中、計画的に改築を行っていく必要がありますが、期間と経費がかかることから、教育環境の維持保全を行う改修工事の重要性は大きくなっています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	学校利用者からは、校舎の傷みや内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、使い勝手などの施設面においては、便所改修や校庭整地等が求められています。近隣住民からは、学校周囲の狭い道路の整備、校庭の土埃対策とともに、各工事における安全性や騒音・振動対策が求められています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	今後、建物の築後50年を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。			
評価と課題	施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。また、教育的なニーズの変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組んでいきます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、計画的に改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数を経過する校舎の増加が見込まれており、現地調査などにより建物の状態を把握することで、改築時期を見極めながら効率的な改修を行っていきます。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築していきます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	515
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		小学校家庭科室及び図工室空調設備整備工事	13	校	98,661
		その他(設計及び工事監理委託)			1,512
	(2) 事業実績	井荻小学校外12校の家庭科室11室及び図工室12室に空調設備を設置しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	教育環境を改善し、児童が学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善し理科教育を充実させるため、平成26年度には理科室に空調設備を設置し、また平成28・29・30年度に家庭科室と図工室に空調設備を設置しました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保護者やPTA協議会などからは、学習環境改善のため、早急に空調設備整備を実施して欲しいとの要望が出されています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	他の教室や学習室・少人数教室及び屋内運動場などにも教育環境改善のための空調設備整備が求められることが予測されます。			
	評価と課題	普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善が図られました。令和元年度は、未設置の特別教室への設置を検討するとともに屋内運動場への設置を進めていきます。また、将来的には、複数の学校で同時期に空調機の設備更新の必要性が予測され、その対策(平準化等)が求められます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	「杉並区教育ビジョン2012」推進計画及びPTA協議会の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の教室への設置を検討します。また、屋内運動場については、空調設備の設置を3か年で順次計画的に進めていきます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（1）

（00666）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（高円寺地区）			款 07	項 02	目 04	事業 009	整理番号 516				
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1687	昨年度整理番号 528					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成30年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般					
	対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	地方自治法第180条の2 学校施設環境改善交付金交付要綱第3						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現・高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を建設する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	建設工事進捗率（平成29～令和元年度） 環境整備工事進捗率（令和元年度）						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成25年度～開校 新しい学校づくり懇談会開催 平成27年度 基本設計 平成27年度～28年度 実施設計 平成28年度末～令和元年度 新校舎建設工事 令和2年4月 新校開校 令和2年3月～8月 環境整備工事		指標説明 成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	これまででは設計進捗率であったが、平成28年度に実績値が100%になったため、指標を変更した。						
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1	%	0	30	29	90	87	100	96.7	
	活動指標（2）	2	%	0	0	0	0	0	10	0.0	
	成果指標（1）	3									
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	349,758	457,401	434,056	1,213,677	1,208,569	1,921,083	平成30年度 予算執行率(%) 99.6	
	（内）投資的経費等	6	千円	349,758	457,401	434,056	0	0	0	特記事項 この事業は、予算科目（小学校費、中学校費）の関係で、整理番号529と分割して記載しています。 （No.516...小学校費、No.529...中学校費）	
	（内）委託費	7	千円	349,545	457,248	433,949	1,145,633	1,145,556	1,804,356		
	職員数	常勤職員数	8	人	2.48	2.50	1.59	1.75	1.80		1.75
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	21,234	21,405	13,660	15,034	15,167		14,746
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	370,992	478,806	447,716	1,228,711	1,223,736	1,935,829		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	0	713,500	471,034	13,652,344	14,065,931	19,358,290		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	10,280	0	59,214	0	158,741		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	10,280	0	59,214	0	158,741	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	360,712	478,806	388,502	1,228,711	1,064,995	1,935,829		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

			整理番号	516	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		建設工事			1,144,750
		初度備品			62,622
	その他（事務費等）			1,197	
(2) 事業実績	平成30年度は、外装工事の大部分が終了するなどし、建設工事進捗率は約87%に達しました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら教育方針や校名、通学路の安全対策など具体的な検討を進めてきました。また、開校に向けた取組や懇談会での意見等について教育委員会ホームページに掲載するとともに近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布して周知を図りました。</p> <p>平成28年に東京都中高層建築物紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明会及び工事説明会を開催したところ、校舎の配置等について一部近隣住民から要望があり、設計変更を実施しました。</p> <p>また、抗議活動等に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も同年4月から令和2年4月に変更しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>施設一体型により小中一貫教育の効果を高め、児童・生徒が共に通う学校として配慮すべき点を明確にしながら、規模の適切さも含めて検討を進めることを求める意見や、地域の力を生かせる多世代が交流する学校、安全性の高い地域防災の拠点となる学校にしてほしいなどの要望がありました。</p> <p>また、周辺住民等から杉並第四小学校との小中学校分離型に計画を見直すべきとの要望がありましたが、現計画に至る経過、学校での取組などを説明してきました。</p> <p>開校時期の変更については、変更により生まれた時間を有効に活用し、児童・生徒の相互交流を行うなど開校に向けて万全を期すように等の意見がありました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和2年4月の開校により、現杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒の交流活動がより盛んになるとともに、学校関係者や地域住民との緊密な連携及び交流が図られています。</p>			
	評価と課題	<p>令和元年7月の新校舎竣工及び令和2年4月の開校に向け建設工事の進捗管理を行うとともに、体育や部活動等に係る代替運動場の活用など、工事期間中の高円寺中学校の学校運営に支障が生じないよう努めて計画を進めていきます。</p> <p>また、3校の新校舎への移転が円滑に進むよう、学校関係者と緊密な連携を図っていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>予算及び債務負担行為に基づき、適切に工事を実施していきます。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00673 ）

事務事業名称		桃井第二小学校の改築				款	07	項	02	目	04	事業	011	整理番号	517		
現担当課名		学校整備課		係名		教育施設計画係		連絡先電話番号		1697		昨年度整理番号		530			
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分				投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01				主要事業（区政経営報告書掲載事業）										
	平成30年度担当課名	学校整備課				事業評価区分						一般					
	対象	桃井第二小学校の児童、教職員及び学校関係者				根拠法令等		(1)		学校教育法第5条							
							(2)		地方自治法第180条の2								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「総合計画・実行計画」に基づき、平成27年に築50年を迎えた桃井第二小学校の改築事業を図る。				活動指標		指標名（ 1 ）		建設工事進捗率（平成29～30年度）							
								指標説明		環境整備工事進捗率（平成31年度）							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）						指標名（ 2 ）		これまでの設計進捗率であったが、平成28年度に実績値が100%になったため、指標を変更した。									
平成26年度		改築検討懇談会設置				成果指標											
平成27年度		改築検討懇談会運営				指標名（ 1 ）											
平成28年度		基本設計				指標説明											
平成29年度～30年度		仮設校舎建設				指標名（ 2 ）											
令和元年度		環境整備工事				指標説明											
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度								
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）								
指標	活動指標（ 1 ）	1	%	0.0	20.0	21.0	100.0	100.0	0.0	100.0							
	活動指標（ 2 ）	2	%	0	0	0	0	0	100	0.0							
	成果指標（ 1 ）	3															
	成果指標（ 2 ）	4															
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	243,151	1,161,479	1,153,196	3,033,389	3,017,110	376,438	平成30年度 予算執行率（%）	99.5						
	（内）投資的経費等	6	千円	243,151	1,161,479	1,153,196	0	0	0	特記事項							
	（内）委託費	7	千円	229,782	985,491	983,300	2,735,825	2,723,098	369,921								
	職員数	常勤職員数	8	人	1.76	1.00	1.61	1.50	1.82	1.50							
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	15,069	8,562	13,832	12,887	15,335	12,639							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	2,971	2,971	2,944	2,944	0	0							
	総事業費	14	千円	261,191	1,173,012	1,169,972	3,049,220	3,032,445	389,077								
	単位当たりコスト	15	円	0	576,650	798,857	30,492,200	30,324,450	0								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	123,031	0	437,444	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計		20	千円	0	0	123,031	0	437,444	0								
差引：一般財源		21	千円	261,191	1,173,012	1,046,941	3,049,220	2,595,001	389,077								
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	517	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		改築関係工事（建設工事、解体、その他工事）				2,672,616
		仮設校舎賃借		12	月	153,871
		工事監理委託				43,489
		初度調弁				136,396
		その他（備品搬出、代替運動措置等）				10,738
	(2) 事業実績	<p>平成29年に引き続き仮設校舎と既存北校舎を併せた学校運営を行いました。体育の授業については、都立荻窪高校・松溪中学校を代替運動場として使用するとともに、旧若杉小プールを活用した水泳指導が円滑に実施できるよう必要な工具運搬、児童の送迎などを行い、教育環境の確保を図りました。</p> <p>平成29年度から開始した新校舎建設工事は、平成31年3月に完了しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>計画発表当初は、改築対象となった経緯や仮設校舎の建設及び代替運動場の確保の不安など、計画概要に対する質問を多く受けたところですが、改築検討懇談会における意見交換、懇談会ニュースの発行、説明会の開催などにより、改築事業について関係者に周知を図り、理解を深めてきました。これらの取組により、現在は、新校舎の施設内容や建設工事の進め方などについて、保護者や近隣住民の理解、協力が得られています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>保護者からは新校舎の整備内容を確認する意見、近隣住民からは建設及び解体工事の進め方や住環境に対する配慮を求める意見など、事業の内容、進め方を確認する意見が寄せられるようになりました。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成31年3月に新校舎が竣工しました。 平成31年4月から仮設校舎及び既存北校舎の解体を始めます。今年度を実施する校庭や外構等の環境整備工事の完了をもって本改築事業は終了となります。</p>				
	評価と課題	<p>新校舎建設工事に当たっては、学校の行事予定や近隣住民からの要望を踏まえ、工程・工法の工夫に努めることで、児童の教育環境、近隣住民の生活環境に可能な限りの配慮を行いました。 令和元年度に実施する仮設校舎や既存北校舎の解体及び環境整備工事においても、保護者や近隣住民等に対する情報提供や要望対応を適宜適切に行いつつ、令和2年3月の校庭完成に向けて工事を着実に進めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>令和元年度に実施する仮設校舎や既存北校舎の解体、環境整備工事の完了をもって、桃井第二小学校の改築工事がすべて終了します。</p>				

令和元年度杉並区事務事業評価表（1）

（00760）

事務事業名称 富士見丘小・中学校の改築			款 07	項 02	目 04	事業 013	整理番号 519			
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1698	昨年度整理番号 532				
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成29年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成30年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般				
	対象	富士見丘小・中学校の児童生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条 自地方自治法第180条の2					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	総合計画・実行計画に基づき、平成28年度に取得した企業用地を活用して、富士見丘小学校を移転し隣接する富士見丘中学校との一体的整備を図ります。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	設計進捗率（平成30～令和2年度、基本計画含む） 改築検討懇談会開催回数（累計）					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成29年度 内部検討 平成30年度 改築検討 懇談会設置・運営 令和元年度 改築検討 懇談会運営 令和2年度 基本設計 令和3年度～ 新校舎建設工事		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明						
区分		単位	平成28年度 実績	平成29年度 計画 実績		平成30年度 計画 (目標値) 実績	令和元年度 計画	平成30年度 対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1 %		0	0	10	10	30	100.0	
	活動指標（2）	2 回		0	0	6	7	10	116.7	
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円		3,564	3,564	9,861	5,350	71,484	平成30年度 予算執行率(%) 54.3	
	(内) 投資的経費等	6 千円		3,564	3,564	0	0	0	特記事項 ・改築基本計画策定等支援業務委託で落差金が大きかったため、執行率が低くなっています。 ・この事業は、予算科目（小学校費、中学校費）の関係で、整理番号530と分割して記載しています。 (No.519...小学校費、No.530...中学校費)	
	(内) 委託費	7 千円		3,564	3,564	9,070	4,848	71,229		
	職員数	常勤職員数	8 人		0.00	1.00	1.20	1.34		1.15
		再任用職員数	9 人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円		0	8,591	10,309	11,291		9,690
		再任用職員分	12 千円		0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円		0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円		3,564	12,155	20,170	16,641	81,174		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円		0	0	2,017,000	1,664,100	2,705,800		
	財源	受益者負担分	16 千円		0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円		0	0	0	0		0
都からの補助金等		18 千円		0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円		0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		3,564	12,155	20,170	16,641	81,174		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

			整理番号	519	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		富士見丘小・中学校改築基本計画策定等支援業務委託			1,566
		富士見丘小・中学校改築に伴う測量調査業務委託			2,970
		その他（改築検討懇談会委員謝礼ほか）			814
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>富士見丘小学校・富士見丘中学校の一体的整備に向け、学校関係者・地域関係者・学識経験者で構成する改築検討懇談会を設置・運営し、同懇談会での意見交換等を踏まえ、改築基本計画を策定しました。また、両敷地の土地測量を行い、今後の設計に向けた準備を着実に進めました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>改築基本計画の策定に当たって、地域住民や保護者を対象とした説明会の開催、改築かわら版の発行等を行ったことで、小学校の移転と中学校との一体的整備に係る学校・地域の方々の理解が進みつつあります。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区内最大規模の公園となる（仮称）都立高井戸公園の環境を生かして、質の高い学校づくりや地域防災力の向上に寄与するような施設づくりを望む声があります。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和元年度に予定される放射5号線の本線4車線化や、令和2年度から順次予定されている（仮称）都立高井戸公園の開園など、今後の周辺環境の変化を視野に、学校設計を着実に進めていく必要があります。また、今後は学区域内に残る生産緑地の毛地化等も見据えて、増加傾向にある児童・生徒数の変化にも柔軟に対応できる施設づくりを設計の中で具体化していきます。</p>			
	評価と課題	<p>改築検討懇談会との意見交換を行うとともに、地域住民や保護者を対象とした説明会を開催するなど、ご意見を伺いながら、目指す学校像や、敷地条件、周辺道路整備等の方向性を定めた改築基本計画を策定することができました。今後は引き続き、懇談会の意見を踏まえつつ、基本設計をとりまとめ、さらに実施設計を通じて、改築基本計画で定めた学校づくりの目標や取組を着実に実現していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>令和元年度の基本設計を踏まえて、令和2年度は実施設計を進めます。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00507)

事務事業名称		中学校の維持管理			款	07	項	03	目	01	事業	002	整理番号	521		
現担当課名		学校整備課		係名	教育施設整備係			連絡先電話番号	1682		昨年度整理番号	534				
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始															
	平成30年度担当課名	学校整備課										事業評価区分	施設維持管理			
	対象			区立中学校の生徒及び施設設備			根拠法令等	(1)		学校教育法第5条						
								(2)		地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		区立中学校数									
機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安全安心を確保する。				指標名(1)		予算の算定根拠										
				指標説明		機械警備実施校数										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標名(2)		予算の算定根拠										
機械警備や昇降機等が導入されている中学校について、それらの設備の保守管理を実施する。				成果指標												
				指標名(1)												
				指標説明												
				指標名(2)												
				指標説明												
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 校	23	23	23	23	23	23	100.0							
	活動指標(2)	2 校	22	22	22	22	22	22	100.0							
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	376,151	40,497	38,686	43,049	39,468	46,462	平成30年度 予算執行率(%)	91.7						
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7 千円	38,924	40,471	38,663	43,023	39,445	46,435								
	職員数	常勤職員数	8 人	16.38	19.35	19.39	17.40	17.46	18.40							
		再任用職員数	9 人	13.10	10.10	10.10	12.00	12.00	13.00							
		非常勤職員数	10 人	2.48	3.10	3.00	3.06	3.60	3.60							
	人件費	常勤職員分	11 千円	140,246	165,675	166,579	149,483	147,118	155,038							
		再任用職員分	12 千円	57,509	44,339	44,723	53,136	53,208	57,642							
		非常勤職員分	13 千円	7,368	9,210	8,832	9,009	11,120	11,120							
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	581,274	259,721	258,820	254,677	250,914	270,262								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	25,272,783	11,292,217	11,253,043	11,072,913	10,909,304	11,750,522								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21 千円	581,274	259,721	258,820	254,677	250,914	270,262								
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

整理番号 521

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	機械警備業務委託	22	校	14,838
		機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	4	校	5,747
		昇降機保守点検業務委託	9	校	8,311
		施設保全法定点検業務委託	23	校	5,863
		その他（設備の保守委託 ほか）			4,709
	(2) 事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の確保に努めました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門事業者への委託が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保していきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00755 ）

事務事業名称 小中一貫教育校開校準備（高円寺地区）				款 07	項 03	目 01	事業 007	整理番号 524		
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1687		昨年度整理番号 537				
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 臨時事業				
事業開始 平成29年度		実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01								
平成30年度担当課名 学校整備課				事業評価区分 一般						
事務事業の概要	対象		杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)		高円寺地域における新しい学校づくり懇談会運営要綱			
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し設置する施設一体型の小中一貫教育校の開校に向け、学園章、学園歌及びメモリアル制作等を行う。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		学園章検討部会開催回数 3校のメモリアル検討部会開催回数			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		平成29年度 学園章案及び学園歌案の制作 平成30年度 学園章及び学園歌の選定並びにメモリアル制作準備 令和元年度 学園章及び学園歌の決定並びにメモリアル制作及び記念式典開催		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		学園章案制作状況 学園歌案制作状況			
	区分		単位	平成28年度実績	平成29年度計画	平成29年度実績	平成30年度計画(目標値)	平成30年度実績	令和元年度計画	平成30年度対計画比(%)
指標	活動指標(1)	1 回		2	3	1	0	0	0.0	
	活動指標(2)	2 回		2	2	3	1	1	33.3	
	成果指標(1)	3 案		10	14	1	1	0	100.0	
	成果指標(2)	4 曲		1	1	1	1	0	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円		828	801	502	339	2,628	平成30年度予算執行率(%) 67.5	
	(内)投資的経費等	6 千円		0	0	0	0	0	特記事項 この事業は、予算科目(小学校費、中学校費)の関係で、整理番号509と分割して記載しています。 (No.509...小学校費、No.524...中学校費)	
	(内)委託費	7 千円		378	351	452	289	852		
	職員数	常勤職員数	8 人		0.00	0.25	0.25	0.25		0.25
		再任用職員数	9 人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円		0	2,148	2,148	2,107		2,107
		再任用職員分	12 千円		0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円		0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円		828	2,949	2,650	2,446	4,735		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円		414,000	983,000	2,650,000	0	0		
	財源	受益者負担分	16 千円		0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円		0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円		0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円		0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		0	0	0	0	0		
差引：一般財源(14-20)		21 千円		828	2,949	2,650	2,446	4,735		
受益者負担比率(16÷14)	22 %		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	524
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		学園章決定			
		学園歌決定及び編曲	1	曲	50
		その他（メモリアル作品制作準備）			289
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>児童・生徒、保護者、地域住民及び新しい学校づくり懇談会での意見を踏まえ、学園章及び学園歌を決定し、学園歌については、混声三部合唱の編曲を行いました。 メモリアルについては、3校のメモリアル検討部会を開催し、新校舎でのメモリアルの展示等について検討を加えるなど、準備を進めました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>学園章及び学園歌は、平成29年に学園章検討部会を設置し、児童・生徒、保護者、学校関係者や地域関係者等の意見を基に懇談会で検討を行い、決定しました。 メモリアルについては、平成29年に3校のメモリアル検討部会を設置し、3校のメモリアル調査結果や過去の統合校の事例を踏まえ、検討を加えました。 なお、抗議活動等に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も同年4月から令和2年4月に変更しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>学園章については、今までの校章に近く重みがある等の意見があり、学園歌については、聴くたびに耳に馴染む等の意見がありました。 メモリアルについては、小さな子どもも見やすい位置に展示することや高円寺中学校にある樹木を活用して作品を制作する等の意見がありました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>学園章、学園歌及びメモリアルが3校の伝統を引き継ぐとともに、新校の象徴として児童・生徒、学校関係者や地域関係者に親しまれます。</p>			
	評価と課題	<p>懇談会委員、児童・生徒、学校関係者及び地域関係者等の意見を基に、3校の伝統を引き継ぐとともに新校の象徴として親しまれるものとして学園章及び学園歌を決定しました。また、メモリアルについては、展示方法等について引き続き検討を進めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	令和2年4月の開校に伴い、本事業は令和元年度をもって終了する予定です。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00513 ）

事務事業名称		中学校の施設整備			款	07	項	03	目	03	事業	001	整理番号	527
現担当課名		営繕課			係名			営繕係			連絡先電話番号	1564	昨年度整理番号	540
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	投資事業
事務事業の概要	事業開始													
	平成30年度担当課名	営繕課										事業評価区分	一般	
	対象	区立中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者			根拠法令等	(1)		学校教育法第5条、地方自治法第180条の2						
						(2)		杉並区工事施工規程、学校施設の計画保全に関する処理要領						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	中学校の諸施設・設備について適切に維持保全するとともに、教育環境の充実を図っていく。			活動指標	指標名（ 1 ）		改修工事実施校数						
					指標説明									
					指標名（ 2 ）									
					指標説明									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	中学校の校舎屋上防水、校舎外壁、便所び照明設備などの改修を計画的に実施する。			成果指標	指標名（ 1 ）		改修工事実施割合							
					指標説明		実施校数÷計画校数							
					指標名（ 2 ）									
					指標説明									
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度	97.9				
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標（ 1 ）	1 件（校）	13	7	7	7	7	8	100.0					
	活動指標（ 2 ）	2												
	成果指標（ 1 ）	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0					
	成果指標（ 2 ）	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	533,957	296,995	290,859	291,926	285,731	367,637	平成30年度予算執行率(%)					
	（内）投資的経費等	6 千円	533,957	296,995	290,859	291,926	285,731	367,637	特記事項					
	（内）委託費	7 千円	533,957	296,995	290,859	291,926	285,731	367,637						
	職員数	常勤職員数	8 人	4.06	3.70	3.97	3.90	4.27	3.60					
		再任用職員数	9 人	0.22	0.20	0.21	0.00	0.00	0.30					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	34,762	31,679	34,106	33,505	35,979	30,334					
		再任用職員分	12 千円	966	878	930	0	0	1,330					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費	14 千円	569,685	329,552	325,895	325,431	321,710	399,301						
	単位当たりコスト	15 円	2,748,308	4,651,000	5,005,143	4,786,429	5,139,857	3,958,000						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	1,048	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	13,263	0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	14,311	0						
差引：一般財源		21 千円	569,685	329,552	325,895	325,431	307,399	399,301						
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

			整理番号	527	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単 位	事業費（千円）
		阿佐ヶ谷中学校校舎屋上防水改修工事			31,320
		高井戸中学校校舎外壁補修工事			106,638
		阿佐ヶ谷中学校便所改修工事			84,240
		東原中学校給食用リフト改修工事			2,376
		その他（中瀬中学校防球網設置工事ほか）			61,157
(2) 事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎屋上防水改修工事、校舎外壁補修工事、便所改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。今後も学校の改築時期、施設の劣化状況や耐用年数を考慮しながら、計画的かつ効果的・効率的な改修工事を実施します。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校建物の老朽化が進む中、改築を計画的に行っていく必要がありますが、期間と経費がかかることから、教育環境の維持保全を行う改修工事の重要性は大きくなっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>学校利用者からは、校舎の傷みや内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、使い勝手などの施設面においては、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、学校周囲の狭い道路の整備、校庭の土埃対策とともに、各工事における安全性や騒音・振動対策等が求められています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>今後、建物の築後50年を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。また、教育的なニーズの変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組んでいきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、計画的に改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数を経過する校舎の増加が見込まれており、現地調査などにより建物の状態を把握することで、改築時期を見極めながら効率的な改修を行っていきます。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築していきます。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00668)

事務事業名称		中学校空調設備整備			款	07	項	03	目	03	事業	005	整理番号	528	
現担当課名		学校整備課			係名	教育施設整備係			連絡先電話番号	1682		昨年度整理番号	541		
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成22年度													
	平成30年度担当課名	学校整備課											事業評価区分	一般	
	対象	区立中学校の生徒及び施設設備			根拠法令等	(1)		学校教育法第5条							
						(2)		地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	教育環境改善のために教室及び屋内運動場に空調設備を整備する。			活動指標	指標名(1)		空調設備設置校数(特別教室)							
					指標名(2)		空調設備設置校数(屋内運動場)								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区立中学校の教室及び屋内運動場に空調設備を整備する。			指標説明											
				成果指標	指標名(1)		空調設備設置率								
					指標名(2)		空調設備設置中学校数÷中学校数(H26・27理科室、H28~30家庭科室、R元・2美術・技術科室)								
					指標説明		空調設備設置率								
					指標説明		空調設備設置中学校数÷中学校数(R元・2・3屋内運動場)								
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 校	9	1	2	5	5	16	100.0						
	活動指標(2)	2 校	0	0	0	0	0	6	0.0						
	成果指標(1)	3 %	54	56	58	66	66	79	100.0						
	成果指標(2)	4 %	0	0	0	0	0	29	0.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	56,808	16,513	15,711	37,527	36,509	234,508	平成30年度予算執行率(%)	97.3					
	(内)投資的経費等	6 千円	56,808	16,513	15,711	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	56,808	16,513	15,711	37,527	36,509	230,368							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.08	0.05	0.11	0.20	0.24	0.40						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	685	428	945	1,718	2,022	3,370						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	57,493	16,941	16,656	39,245	38,531	237,878							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	76,111	428,000	472,500	7,849,000	7,706,200	14,867,375							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	2,000	2,575	12,000	6,648	10,482						
		都からの補助金等	18 千円	12,703	1,000	3,634	6,000	6,271	6,112						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	67,645							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	12,703	3,000	6,209	18,000	12,919	84,239							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	44,790	13,941	10,447	21,245	25,612	153,639							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	528
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		中学校家庭科室空調設備整備工事	5	校	34,997
		その他(設計及び工事監理委託)			1,512
	(2) 事業実績	高井戸中学校外4校の家庭科室10室に空調設備を設置しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	教育環境を改善し、生徒が学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善し理科教育を充実させるため、平成26・27年度には理科室に空調設備を設置し、また、平成28・29・30年度に家庭科室にも空調設備を設置しました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保護者やPTA協議会などからは、学習環境改善のため、早急に空調設備整備を実施して欲しいとの要望が出されています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	他の教室や学習室・少人数教室及び屋内運動場などにも教育環境改善のための空調設備整備が求められていくことが予測されます。			
	評価と課題	普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善が図られました。令和元年度は、空調設備未設置の美術室及び屋内運動場への整備を進めていきます。今後はそれ以外の未設置の教室などへの設置が課題となります。また、将来的には、複数の学校で同時期に空調機の設備更新の必要性が予測されることから、その対策(平準化等)が求められます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	「杉並区教育ビジョン2012」推進計画及びPTA協議会の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の美術室に空調設備を設置します。また、屋内運動場については、空調設備の設置を3か年で順次計画的に進めていきます。			

令和元年度杉並区事務事業評価表（1）

（00669）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（高円寺地区）			款 07	項 03	目 03	事業 007	整理番号 529				
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1684		昨年度整理番号 542					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成30年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般					
	対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	地方自治法第180条の2 学校施設環境改善交付金交付要綱第3						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	建設工事進捗率（平成29～令和元年度） 環境整備工事進捗率（令和元年度）						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成25年度～開校 新しい学校づくり懇談会開催 平成27年度 基本設計 平成27年度～28年度 実施設計 平成28年度末～令和元年度 新校舎建設工事 令和2年4月 新校開校 令和2年3月～8月 環境整備工事		指標説明 成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	これまででは設計進捗率であったが、平成28年度に実績値が100%になったため、指標を変更した。						
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1 %	0	30	29	90	87	100	96.7		
	活動指標（2）	2 %	0	0	0	0	0	10	0.0		
	成果指標（1）	3									
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	349,778	457,630	438,069	1,221,661	1,220,221	2,077,586	平成30年度 予算執行率(%)	99.9	
	(内) 投資的経費等	6 千円	349,778	457,630	438,069	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費	7 千円	349,453	453,451	433,989	1,146,803	1,146,676	2,007,009	この事業は、予算科目 (小学校費、中学校費) の関係で、整理番号 516と分割して記載し ています。 (No.516...小学校費、 No.529...中学校費)		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.47	2.50	1.59	1.75	1.80	1.75		
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分	11 千円	21,148	21,405	13,660	15,034	15,167	14,746		
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	370,926	479,035	451,729	1,236,695	1,235,388	2,092,332			
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	0	713,500	471,034	13,741,056	14,199,862	20,923,320			
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	10,280	0	59,215	0	158,741	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	10,280	0	59,215	0	158,741	0			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	360,646	479,035	392,514	1,236,695	1,076,647	2,092,332			
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	529	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		建設工事			1,144,750
		用地取得費			72,988
		代替運動場措置			36
	その他（事務費等）			2,447	
(2) 事業実績	平成30年度は、外装工事の大部分が終了するなどし、建設工事進捗率は約87%に達しました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら教育方針や校名、通学路の安全対策など具体的な検討を進めてきました。また、開校に向けた取組や懇談会での意見等について教育委員会ホームページに掲載するとともに近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布して周知を図りました。平成28年に東京都中高層建築物紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明会及び工事説明会を開催したところ、校舎の配置等について一部近隣住民から要望があり、設計変更を実施しました。また、抗議活動等に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も同年4月から令和2年4月に変更しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	施設一体型により小中一貫教育の効果を高め、児童・生徒が共に通う学校として配慮すべき点を明確にしなが、規模の適切さも含めて検討を進めることを求める意見や、地域の力を生かせる多世代が交流する学校、安全性の高い地域防災の拠点となる学校にしてほしいなどの要望がありました。また、周辺住民等から杉並第四小学校との小中学校分離型に計画を見直すべきとの要望がありましたが、現計画に至る経過、学校での取組などを説明してきました。開校時期の変更については、変更により生まれた時間を有効に活用し、児童・生徒の相互交流を行うなど開校に向けて万全を期すように等の意見がありました。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	令和2年4月の開校により、現杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒の交流活動がより盛んになるとともに、学校関係者や地域住民との緊密な連携及び交流が図られています。			
	評価と課題	令和元年7月の新校舎竣工及び令和2年4月の開校に向け建設工事の進捗管理を行うとともに、体育や部活動等に係る代替運動場の活用など、工事期間中の高円寺中学校の学校運営に支障が生じないよう努めて計画を進めていきます。また、3校の新校舎への移転が円滑に進むよう、学校関係者と緊密な連携を図っていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	予算及び債務負担行為に基づき、適切に工事を実施していきます。				

令和元年度杉並区事務事業評価表（1）

（00756）

事務事業名称 富士見丘小・中学校の改築			款 07	項 03	目 03	事業 008	整理番号 530					
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1698	昨年度整理番号 543						
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業						
事務事業の概要	事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成30年度担当課名	学校整備課					事業評価区分 一般					
	対象	富士見丘小・中学校の児童生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	総合計画・実行計画に基づき、平成28年度に取得した企業用地を活用して、富士見丘小学校を移転し隣接する富士見丘中学校との一体的整備を図ります。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	設計進捗率（平成30～令和2年度、基本計画含む） 改築検討懇談会開催回数（累計）							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度～	内部検討 改築検討 基本計画 改築検討 基本設計 実施設計 新校舎建設工事	懇談会設置・運営 懇談会運営	成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明							
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度	平成30年度 予算執行率(%) 51.8 特記事項 ・改築基本計画策定等支援業務委託で落差金が大きかったため、執行率が低くなっています。 ・この事業は、予算科目（小学校費、中学校費）の関係で、整理番号519と分割して記載しています。 （No.519...小学校費、No.530...中学校費）		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	%		0	0	10	10	30		100.0	
	活動指標（2）	2	回		0	0	6	7	10		116.7	
	成果指標（1）	3										
	成果指標（2）	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円		21,276	20,553	10,246	5,306	71,484			
	（内）投資的経費等	6	千円		21,276	20,553	0	0	0			
	（内）委託費	7	千円		21,108	20,386	9,455	4,848	71,229			
	職員数	常勤職員数	8	人		0.00	1.00	1.20	1.34		1.15	
		再任用職員数	9	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円		0	8,591	10,309	11,291		9,690	
		再任用職員分	12	千円		0	0	0	0		0	
		非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0		0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円		21,276	29,144	20,555	16,597	81,174			
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円		0	0	2,055,500	1,659,700	2,705,800			
	財源	受益者負担分	16	千円		0	0	0	0		0	
		国からの補助金等	17	千円		0	0	0	0		0	
		都からの補助金等	18	千円		0	0	0	0		0	
その他の補助金等		19	千円		0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円		0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (14-20)		21	千円		21,276	29,144	20,555	16,597	81,174			
受益者負担比率 (16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

		整理番号		530	
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単 位	事業費（千円）
		富士見丘小・中学校改築基本計画策定等支援業務委託			
		富士見丘小・中学校改築に伴う測量調査業務委託			2,970
		その他（改築検討懇談会委員謝礼ほか）			770
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>富士見丘小学校・富士見丘中学校の一体的整備に向け、学校関係者・地域関係者・学識経験者で構成する改築検討懇談会を設置・運営し、同懇談会での意見交換等を踏まえ、改築基本計画を策定しました。また、両敷地の土地測量を行い、今後の設計に向けた準備を着実に進めました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>改築基本計画の策定に当たって、地域住民や保護者を対象とした説明会の開催、改築かわら版の発行等を行ったことで、小学校の移転と中学校との一体的整備に係る学校・地域の方々の理解が進みつつあります。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区内最大規模の公園となる（仮称）都立高井戸公園の環境を生かして、質の高い学校づくりや地域防災力の向上に寄与するような施設づくりを望む声があります。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和元年度に予定される放射5号線の本線4車線化や、令和2年度から順次予定されている（仮称）都立高井戸公園の開園など、今後の周辺環境の変化を視野に、学校設計を着実に進めていく必要があります。また、今後は学区域内に残る生産緑地の宅地化等も見据えて、増加傾向にある児童・生徒数の変化にも柔軟に対応できる施設づくりを設計の中で具体化していきます。</p>			
	評価と課題	<p>改築検討懇談会との意見交換を行うとともに、地域住民や保護者を対象とした説明会を開催するなど、ご意見を伺いながら、目指す学校像や、敷地条件、周辺道路整備等の方向性を定めた改築基本計画を策定することができました。今後は引き続き、懇談会の意見を踏まえつつ、基本設計をとりまとめ、さらに実施設計を通じて、改築基本計画で定めた学校づくりの目標や取組を着実に実現していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>令和元年度の基本設計を踏まえて、令和2年度は実施設計を進めます。</p>			